

令和2年(2020年)4月入学

宇都宮大学大学院
工学研究科博士課程

第二次学生募集要項

- (一般選抜)
- (推薦特別選抜)
- (社会人特別選抜)
- (外国人留学生特別選抜)

宇都宮大学

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、7頁をご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、ぜひとも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

☆ 主要日程

	一 般 選 抜 推 薦 特 別 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜
出願受付期間	令和2年1月7日(火)から1月10日(金)まで 9時から16時まで
試 験 日	令和2年1月23日(木) 9時から
合格者発表	令和2年2月3日(月) 10時予定

入学試験過去問題の開示について

工学研究科博士課程では、入学試験問題の開示を行っておりません。

個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続きなど入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

お問い合わせ先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2
宇都宮大学学務部陽東学務課
電話 028-689-6003

目 次

工学研究科（博士課程）アドミッション・ポリシー	1
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	3
4. 出願書類等	3
5. 選抜方法及び期日	5
6. 入学検定料免除について	7
7. 入学手続	8
8. 入学料及び授業料等	8
9. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予	8
10. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	9
11. 注意事項	9
12. 日本学生支援機構奨学金	9
出願資格（6）の認定について	10
大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について	11
長期履修学生制度について	11
試験場への案内	13

(添付書類等)

- ・ 入学志願票
- ・ 写真票, 受験票
- ・ 修士学位論文要旨・研究経過報告書
- ・ 研究業績調書
- ・ 研究計画書
- ・ 入学検定料振込受付証明書貼付台紙
- ・ 受験許可書
- ・ 出願資格認定審査申請書
- ・ 入学希望理由書
- ・ 経歴書
- ・ 学術論文等の要旨・研究経過報告書
- ・ 入学検定料免除申請書
- ・ 銀行振込用紙（入学検定料振込用）

工学研究科（博士課程）アドミッション・ポリシー

○システム創成工学専攻

1. 求める学生像

- (1) 独創性の高い創造能力および柔軟な応用力のある学識，さらには広い国際感覚を備え産業界において指導的立場で活躍できる人
- (2) 1つの専門分野だけでなく，他分野に対する幅広い知識と深い実力を備えた人間性豊かで，常に新しく発展する分野へ積極的に対応できる人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 博士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 理数系分野に対する熱意と能力に加えて，幅広い分野の修得に対する意欲も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力，倫理観なども考慮して評価します。

令和2年(2020年)4月入学

宇都宮大学大学院工学研究科博士課程第二次学生募集要項

1. 募 集 人 員

専攻名	募集人員
システム創成工学	若干名

注) 募集人員の中には、推薦特別選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を含みます。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を取得した者及び入学時までに取得見込みの者
- (2) 外国において、日本の修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び入学時までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び入学時までに取得見込みの者
- (4) 日本国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び入学時までに取得見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - 1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると、学長が認める者で、入学時までに24歳に達する者

注) (5)により出願しようとする者は、令和元年11月14日(木)までに、必ず学務部陽東学務課へ問い合わせてください。なお、(6)により出願しようとする者は、10頁の「出願資格(6)の認定について」を参照してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和2年1月7日(火)から1月10日(金)まで。受付時間は、9時から16時までとします。

(2) 提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学学務部陽東学務課

なお、郵送する場合は、封筒の表に「大学院工学研究科博士課程入学願書在中」と朱書きしてください。

(3) 注意事項

志願者は、出願手続をする前に、あらかじめ希望指導教員に連絡を取り、受け入れの承諾を得てください。

4. 出願書類等

出 願 書 類	注 意 事 項
志願票・受験票・写真票	本学所定の用紙を用い、必要事項を記入する。 出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4×3cm)を受験票及び写真票に貼ってください。
推 薦 書	出身大学の学長、学部長(研究科長)又は専攻長等が作成のうえ厳封されたもの。(推薦特別選抜で出願する者のみ。)
成 績 証 明 書	出身大学の学長又は学部長(研究科長)が作成のうえ厳封されたもの。 ① 出願資格(1),(2),(3)又は(4)のいずれかにより出願する者は、大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書 ② 出願資格(5)又は(6)により出願する者は、最終学校の成績証明書
修士課程修了(見込)証明書	出身大学作成のもの。 ただし、本研究科博士前期課程(修士課程)修了(見込)者は不要です。

<p>TOEIC 又は TOEFL の スコア（一般選抜で出願 し、英語試験成績代用を 希望するもの）</p>	<p>選抜試験日から過去2年以内に受験した TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL iBT スコアを証明する書類を提出してください。TOEIC Speaking & Writing Test, Bridge, 団体特別受験等の TOEIC (IP), TOEFL (ITP) などのスコアは不可です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC の場合 : Official Score Certificate を提出 ・ TOEFL の場合 : Official Score Report 又は Institutional Score Report を宇都宮大学機関コード「7976」に送付するように手続きをしてください。なお、TOEFL Test Taker Score Report (Examinee Score Report) の提出でも結構です。TOEFL iBT スコアを提出した場合は、Test Date スコアを使用します (My Best スコアは使用しません)。 <p>出願前に原本を学務部陽東学務課に持参すれば、そのコピーも可とします。また、出願時に原本を提出できない場合は、学務部陽東学務課に相談してください。</p> <p>TOEIC 又は TOEFL スコアを提出しない場合は、試験日に英語の筆記試験を受けていただきます。</p>
<p>修士学位論文要旨・研究経過報告書</p>	<p>① 修士の学位論文を提出した者はその要旨（本学所定の用紙を用い2000字以内、英語の場合は1000 words 以内）</p> <p>② ①以外の者は、研究経過報告書（本学所定の用紙を用い2000字以内、英語の場合は1000 words 以内）</p> <p>なお、上記の①あるいは②に加えて公表論文・研究業績がある場合は論文等の写し及び研究業績調書（本学所定用紙）を提出してください。</p>
<p>研 究 計 画 書</p>	<p>本学所定の用紙を用いてください。</p>
<p>入 学 検 定 料 (入学検定料振込受付証明書貼付台紙)</p>	<p>30,000 円・・・本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座に振り込むこと。ただし、ATMは使用しないでください。なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り「入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付してください。</p> <p>ただし、本学博士前期課程（修士課程）から引き続き博士課程へ志願する者には不要です。</p> <p>国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を行う予定の者は、所定の届出により入学検定料を免除するので、出願前に必ず学務部陽東学務課に問い合わせてください。</p> <p>また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、7頁「6. 入学検定料免除について」を参照し、「入学検定料免除申請書」を提出してください。その場合は、入学検定料は納付せずに、入学検定料『振込受付証明書』貼付欄の「免除申請」を○で囲んでください。</p>

そ の 他	<p>① 受験許可書（本学所定の用紙） 他大学大学院博士（後期）課程に在籍中の者は、当該大学院が発行したもの、社会人特別選抜にあっては勤務先の所属長が発行したものを提出してください。</p> <p>② 日本国籍を有しない者は、住民票（在留期間・在留資格を明記したものでマイナンバーの記載がないもの）を提出してください。</p> <p>③ 受験票送付用封筒（長形3号） 住所及び氏名明記，404円切手（簡易書留郵送料）を貼付してください。ただし，願書を持参する場合は不要です。</p>
-------	---

5. 選抜方法及び期日

入学者の選抜は，学力検査（筆記試験，口述試験），面接及び出願書類を総合して行います。

ただし，推薦特別選抜，社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜は筆記試験を課しません。

【一般選抜】

（1）学力検査

- ① 筆記試験 専 門
英 語(配点 50 点, TOEIC 又は TOEFL スコアでの代用が可能です。)
- ② 口述試験 研究論文等及び研究計画等についての発表，専門に関する試問を行います。
- ③ 面 接

TOEIC 及び TOEFL スコアからの英語試験成績換算表

試験種別	スコア範囲	本学英語試験換算点
TOEIC	200 点以下	0 点
	200 < スコア < 730	$0.078 \times (\text{スコア} - 100)$
	730 点以上	50 点
TOEFL (iBT)	23 点以下	0 点
	23 < スコア < 80	$0.7 \times \text{スコア} - 6$
	80 点以上	50 点

（2）試験の日時

令和2年1月23日（木） 筆記試験 専門・英語 9:00～
口述試験及び面接 13:00～

（3）試験場

宇都宮大学工学部・工学研究科内

（4）合格発表

令和2年2月3日（月）10時（予定）に工学部・工学研究科掲示板にて発表するほか，本人にも通知します。

また，合格者発表専用 URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行う

ものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。(システム障害等がない場合、工学部・工学研究科掲示板に発表 30 分後に掲載します。)

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

【推薦特別選抜】

出願資格(1)に該当する者で、次の推薦要件の各号を満たす者を対象として行います。

推薦要件

- 1 学業成績が優秀であり、専攻長等から推薦を得られる者
- 2 合格した場合には入学することを確約できる者

(1) 学力検査

① 口述試験 研究論文等及び研究計画等についての発表、専門に関する試問を行います。

② 面接

(2) 試験の日時

令和2年1月23日(木) 口述試験及び面接 9:00～

(3) 試験場

宇都宮大学工学部・工学研究科内

(4) 合格発表

令和2年2月3日(月)10時(予定)に工学部・工学研究科掲示板にて発表するほか、本人にも通知します。

また、合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。(システム障害等がない場合、工学部・工学研究科掲示板に発表 30 分後に掲載します。)

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

【社会人特別選抜】

出願時において企業等に勤務している場合は、所属長の許可が必要となります。

なお、工学研究科博士課程では、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、授業を夜間の時間帯等にも開講し、社会人学生の受講に便宜を図っています。(11頁を参照してください。)

(1) 学力検査

① 口述試験 研究論文等及び研究計画等についての発表、専門に関する試問を行います。

② 面接

(2) 試験の日時

令和2年1月23日(木) 口述試験及び面接 9:00～

(3) 試験場

宇都宮大学工学部・工学研究科内

(4) 合格発表

令和2年2月3日(月)10時(予定)に工学部・工学研究科掲示板にて発表す

るほか、本人にも通知します。

また、合格者発表専用 URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。（システム障害等がない場合、工学部・工学研究科掲示板に発表 30 分後に掲載します。）

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

【外国人留学生特別選抜】

2 頁の出願資格（1）、（2）又は（4）の出願資格に該当する外国人留学生を対象として行います。

日本の大学を卒業し、さらに日本の大学院を修了した者及び出願資格認定審査を受けた者は、対象外となりますので一般選抜により出願してください。

（1）学力検査

① 口述試験 研究論文等及び研究計画等についての発表、専門に関する試問を行います。

② 面接

（2）試験の日時

令和 2 年 1 月 23 日（木）口述試験及び面接 9:00～

（3）試験場

宇都宮大学工学部・工学研究科内

（4）合格発表

令和 2 年 2 月 3 日（月）10 時（予定）に工学部・工学研究科掲示板にて発表するほか、本人にも通知します。

また、合格者発表専用 URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。（システム障害等がない場合、工学部・工学研究科掲示板に発表 30 分後に掲載します。）

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成 23 年 3 月以降に災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

（ア）全壊

（イ）大規模半壊

- (ウ) 半壊
- ④ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者
 - (ア) 警戒区域
 - (イ) 計画的避難区域
 - (ウ) 緊急時避難準備区域
- イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者
- ② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

 - ア ①ア⑦並びに④に該当する者

罹災証明書、被災証明書等
 - イ ①イに該当する者
 - ⑦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類
 - ④ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部陽東学務課までお問い合わせください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部陽東学務課から電話にて連絡します。

7. 入 学 手 続

(1) 入学手続期間

令和2年3月上旬から3月中旬頃を予定しています。

なお、期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

(2) 詳細は、合格通知とともに送付します。

8. 入学料及び授業料等

(1) 入学料及び授業料等

入学料 282,000円

授業料 535,800円（年額）

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 授業料は、半期分（267,900円）をそれぞれ指定期日までに納付してください。

(2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（3年間分）〔平成31年4月現在〕 3,620円

9. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予

(1) 特別な事情により学費の納入が困難であると認められた場合には、入学料又は授業料を免除若しくはそれらの一部を免除することがあります。

(2) 所定の期日までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた場合には入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

詳細は、学務部陽東学務課に相談してください。

10. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、11月25日（月）までに学務部陽東学務課へ相談してください。

11. 注 意 事 項

- (1) 学生募集に関する照会は、宇都宮大学学務部陽東学務課において受け付けます。
郵便で照会する場合は、84円切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（長形3号）を同封してください。
- (2) 学生募集要項を郵送で希望する場合は、封筒の表に「大学院工学研究科博士課程学生募集要項請求」と朱書きし、250円切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（角形2号）を同封のうえ請求してください。
- (3) 出願手続終了後は、提出書類の変更、入学検定料の返戻はしません。
- (4) 出願者に対する宿泊施設の斡旋はしません。
- (5) 試験当日は、筆記試験開始後30分までに試験室に入室した者については、受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。
- (6) 出願資格（1）（2）（3）（4）の取得見込みにより出願した者が入学試験に合格した時は、入学するまでに「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を提出してください。
- (7) 出願資格（1）（2）（3）（4）の取得見込みにより出願したが、入学するまでに修士の学位、専門職学位又は専門職学位に相当する学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。

12. 日本学生支援機構奨学金

奨学金を希望される方は、本学ホームページをご覧ください。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/exemption.php>

出願資格（6）の認定について

1. 資格審査の対象者

次の（1）又は（2）に該当する者

（1）学士の学位を有し、次の要件を満たす者

- ① 大学を卒業した後、大学、研究所等で2年以上研究に従事した者又は科学、技術関連分野で、2年以上業務経験を有する者
- ② 著書、学術論文、学術講演、学術報告、及び特許などにおいて修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者

（2）短期大学、高等専門学校、専門学校、専修学校、各種学校の卒業者及びその他の教育施設の修了者等で、次の①～③のいずれかに該当し、④の要件を満たす者

- ① 短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科を修了している者で、大学、研究所等で2年以上研究に従事した者又は科学・技術関連分野で2年以上の業務経験等を有する者
- ② 短期大学、高等専門学校、専門学校の卒業者等大学編入学資格を有する者で、大学、研究所等で4年以上研究に従事した者又は科学・技術関連分野で4年以上の業務経験等を有する者
- ③ 大学編入学資格を有していない専修学校、各種学校の卒業者及びその他の教育施設の修了者等で、大学、研究所等で6年以上研究に従事した者又は科学・技術関連分野で6年以上業務経験を有する者
- ④ 著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許などにおいて、修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者

2. 申請方法等

資格審査対象者は出願資格の審査を行いますので、審査に必要な書類等を期日までに提出してください。

（1）提出書類等

提出書類等	資格審査(1) 該当者	資格審査(2) 該当者	備考
入学試験出願資格認定審査申請書	○	○	本学所定用紙
入学希望理由書		○	本学所定用紙
経歴書	○	○	本学所定用紙
学術論文等の要旨・研究経過報告書	○	○	本学所定用紙
研究業績調書	○	○	本学所定用紙
論文の写し等	○	○	
最終学校の成績証明書		○	
最終学校の卒業（修了）証明書	○	○	
返信用封筒（長形3号）	○	○	住所、氏名を明記し、374円切手貼付

（2）申請受付期間

令和元年11月14日（木）から11月25日（月）まで（土、日は除く）に学務部陽東学務課に提出してください。なお、申請受付期間内に申請が間に合わない場合は、

学務部陽東学務課にお問い合わせください。また、本申請期間以前に出願資格を有すると認められた者は、その旨令和元年11月14日（木）までに学務部陽東学務課へお知らせください。

3. 審査結果等

- (1) 審査は、宇都宮大学大学院工学研究科において行い、結果は、令和元年12月25日（水）までに本人あて通知します。
- (2) 出願資格を有すると認められた者は、令和2年1月7日（火）から1月10日（金）16時まで所定の出願手続をしてください。

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

近年、大学院における社会人研究者、技術者等の指導的な役割を果たし得る高度な技術者の養成が求められているが、通常の方法を実施した場合、社会人研究者、技術者等はその勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人研究者、技術者等の就学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本学研究科では、大学院での履修を希望する社会人研究者、技術者等に対し大学院設置基準第14条に定める特例による教育を実施しています。

※教育方法の特例の概要は次のとおりです。

1. 教育方法の特例の適用を受けることができる期間は、原則として3年間とします。
2. 第14条適用に係る授業の時間帯は原則として、平日の11・12時限(17:40～19:10)及び土曜日の1・2時限(8:40～10:10)から9・10時限(16:00～17:30)の間に行います。
3. 履修計画及び研究計画書は、指導を希望する教員と相談のうえ、作成してください。
4. 博士論文作成等のための研究活動は、指導教員が、論文の作成が十分進展しており、企業等に研究に係る優れた施設や設備があり、それを利用の方が効果が上がると認められる場合は、勤務する企業等においても行うことができます。

※教育の特例を希望する者の手続

あらかじめ指導を希望する教員と相談のうえ、履修計画等を定め提出してください。

長期履修学生制度について

この制度は、職業を有していること等による修学の困難さに対して、標準修業年限(3年)を超えて一定期間(最長6年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了できるようにす

るものです。教育課程表や履修すべき総単位数は3年で修了するものと同じであるから、単年度の時間的負担は相当軽減されることとなります。

長期履修学生として認められると、通常3年の大学院修了年限のところを、例えば4年間で修了することができます。この間の授業料は、3年分を4年に分割して納入することになります。すなわち3年間(6学期)の授業料を4年間(8学期)に分割して納めるために、年当たりの負担額は少なくなります。(ただし、授業料が改訂された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。)

長期履修学生として認められるためには、宇都宮大学長に必要書類を添付のうえ、申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて9年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については、留年扱いとなつて、通常の授業料が適用されることとなります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長(4年を5年に)又は短縮(5年を4年に)することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

1. 新規申請

- ① 入学時に申請する場合・・・当該入学年度開始前の3月の入学手続き期間中
- ② 在学中に申請する場合・・・長期履修開始前年度の2月末日まで

2. 長期履修期間の延長及び短縮

長期履修期間の延長を希望する場合は許可されている長期履修期間が終了する月の前月末日までに、短縮を希望する場合は修了を予定する月の前月末日までに長期履修期間変更願を提出してください。

本制度に関する問い合わせは、学務部陽東学務課において受け付けます。なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

【参考】

宇都宮大学大学院長期履修学生規程(抜粋)

(長期履修期間)

第5条 長期履修学生として、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認められる期間(以下「長期履修期間」という。)は、原則として1年単位とし、次の各号に掲げるとおりとする。

- 一 入学者のうち長期履修学生として認められた者については、修士課程及び専門学位課程にあつては4年以内とし、博士課程にあつては6年以内とする。
- 二 在学途中から長期履修学生として認められた者の長期履修期間は、未修学年数の2倍に相当する年数以内とする。

(延長及び短縮)

第7条 許可された長期履修期間の変更は1回限りとし、延長又は短縮は専攻教授会又は当該研究科委員会が必要と認めた場合に限り、半年単位とすることができるものとする。なお、長期履修期間変更願の提出期限は、別に定める。

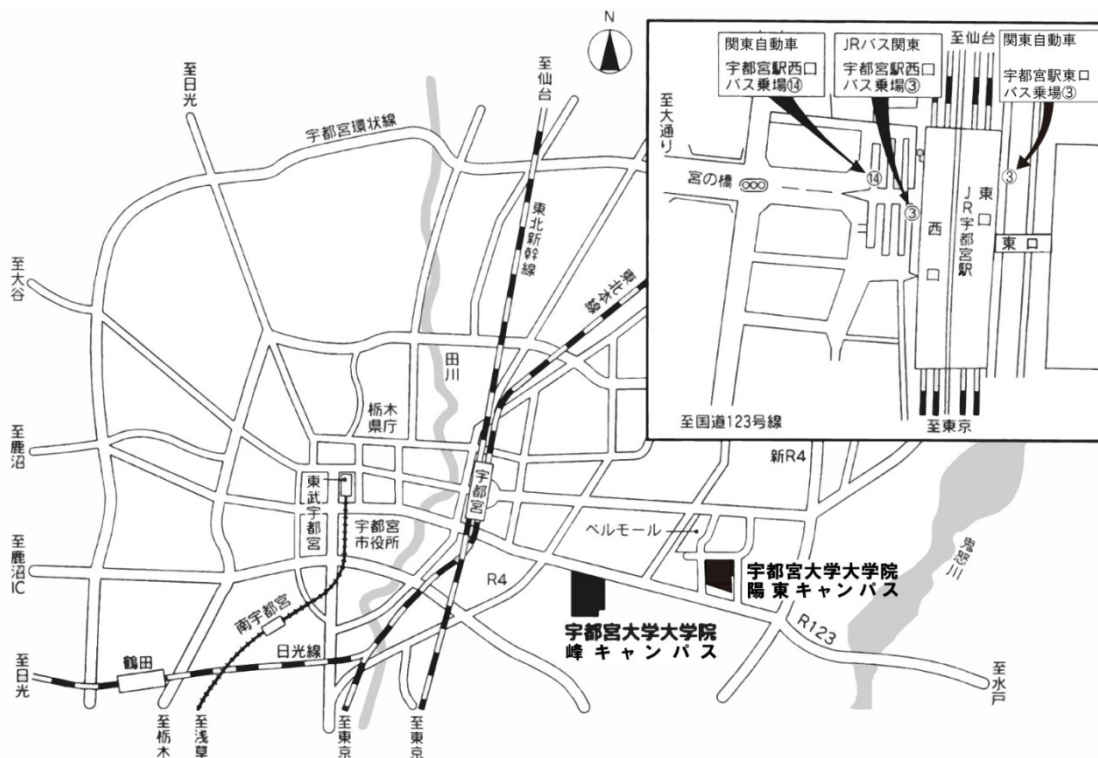
試験場への案内

東京都内から本学最寄駅までのアクセス

- 東京駅からJR宇都宮駅 JR 東北新幹線利用 約1時間
- 新宿駅からJR宇都宮駅 JR 上野東京ライン、宇都宮線利用 約2時間
- 浅草駅から東武宇都宮駅 JR 湘南新宿ライン、東北新幹線利用（大宮駅乗換） 約1時間15分
- 浅草駅から東武宇都宮駅 JR 湘南新宿ライン、宇都宮線利用 約1時間50分
- 浅草駅から東武宇都宮駅 東武スカイライン、東武日光線、東武宇都宮線利用（曳舟、南栗橋、新栃木駅など乗換） 約2時間30分
- 羽田空港からJR宇都宮駅 東京空港交通（高速バス）利用 約3時間

仙台から本学最寄駅までのアクセス

- 仙台駅からJR宇都宮駅 JR 東北新幹線利用 約1時間20分



本学最寄駅からキャンパスまでのアクセス

◎陽東キャンパス（JR宇都宮駅から約4.2km）

- JRバス関東（芳賀町役場、芳賀バスターミナル、茂木、ベルモール行など）
JR宇都宮駅西口バス乗場③から乗車～「工学部前」下車 約15分
- 関東自動車（真岡、益子、海星学院、ベルモール行）
JR宇都宮駅西口バス乗場④から乗車～「工学部前」下車 約15分
東武宇都宮駅バス乗場から乗車～「工学部前」下車 約25分
- 関東自動車（宇大循環線（左回り）または（右回り））
JR宇都宮駅東口バス乗場③から乗車～「宇大工学部正門」下車（左回り）約15分、（右回り）約25分

[参考]

バス時刻表検索「うつのみや.guide」 <https://www.utsunomiya.guide/>
 JRバス関東(株)宇都宮支店 TEL 028 (687) 0671
 関東自動車(株)東野平出営業所 TEL 028 (662) 1080
 関東自動車(株)築瀬営業所 TEL 028 (633) 3482